

事業実績書

団体名	小鯖地域づくり協議会
-----	------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

地域住民及び各種団体が、連携・協力して、自然豊かで安心して住み続けられる地域づくりを進める。

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	豊かで安心して住み続けられる小鯖を創造するため、自治会及び各種団体と連携し、将来の小鯖に必要な機能を備えた複合拠点施設の設置を目指し検討する。		
	事業名	複合拠点施設設置推進事業	決算額	0円
②	視点	地域づくりの新たな担い手の確保・育成		
	事業名	担い手確保促進事業	決算額	148,912円
③	視点	防災意識の向上を図る。		
	事業名	自主防災推進 災害対策事業	決算額	115,084円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)		自己評価
① 複合拠点施設設置検討事業:市との意見交換は十分に出来たと考える。建設委員会を設置し、令和7年、8年と現実的な検討と意見の集約を進める心積もりであったが、市の幼稚園構想の課題で少し延期となっているが、地元として要望をまとめ速やかに望みたい。		◎
② 担い手確保については、60歳前後の世代の中で少しでも色々なお手伝い支援が出来る集団を復活させようという声が上がっている。これらの声を元に令和8年度の重点取り組み課題に位置付け、前向きに積極的に取り組む。		◎
③ 小鯖地域の指定避難所である「小鯖小学校体育館」の避難所開設・運営についての防災研修を6月(机上)と11月(現場)と行った。また、小学生児童への防災知識への講習を実施したりして、地域全体に対して防災意識向上に努めた。今後も継続して進める。		○

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

第4次地域づくり計画も3年経過となり、重要な取り組みはほぼ順調に進めることができた。しかし、地域住民の高齢化及び少子化は、待った無しで進んでいる。担い手や後継者の不足は深刻な課題である。事業へのボランティア参加が目に見えて減少している。次年度からの取組事業は、まず各部会で取組み方を検討し進めて行く計画である。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	5, 330, 789円
事務局の 運営体制	(事務員等の雇用人数) 交代を含め 事務局長:2名、事務員:5名 (運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費、通信費、各事業費の管理 他 (成果・評価) 年度を通じ、滞り無く事務局運営を行った。ただ、事務局長、事務員が途中で体調を崩し、新規採用を含め対応した。 (今後に向けて) 第4次地域づくり計画3年目を終了したが、部会、事務局運営について課題もあり、折り返しの年度となるが、引き続き部会運営の支援と協議会全般の取り組みに注力する。

(2) 地域振興

事業名	史跡・名所等調査整備事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容) 今年度は主テーマとして取り組んでいない。 (実施時期) (参加人数) (成果) (評価) (今後に向けて)

事業名	文化財保護育成事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容) 今年度は主テーマとして取り組んでいない。 (実施時期) (参加人数) (成果) (評価) (今後に向けて) 保存は関係者だけでは困難であり、少子高齢化が拍車をかけている状況、保存に向けた協議は継続する。

事業名	地域活性化事業
事業費	36, 294円
事業概要	(実施内容) 小中学生を対象にした学校施設を利用した体験学習(防災体験)実施。 (実施時期) 8月末 (参加人数) 延べ100名(幼稚園児・小学生40名、中学生13名、保護者ボランティア、自主防災会等) (成果) 地域づくりに繋がる、親世代、中堅世代がボランティアや実施側の中心となり進め、非常食(カレー)の調理、防災体験、ゲーム等でつながりが育まれた。 (評価) コロナ以降で多くの住民が関わる事業の実施は難しいところも多々あったが、それぞれの協力で多くの成果をみた。 (今後に向けて) 事業内容を検討しながら、引き続き地域活性化事業を行う。

事業名	高齢者スマートフォン普及事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容) 今年度、取り組みせず (実施時期) 通年 (参加人数) (成果) (評価) (今後に向けて)

事業名	地域情報伝達デジタル化事業
事業費	21,780円
事業概要	(実施内容) アプリ「キントーン」活用の推進、地域情報のインスタグラム発信等に取り組む。 (実施時期) 通年 (参加人数) 地域住民約3,800名対象 (成果) 若年層を中心に、反応が大きくなっている。 (評価) 情報発信と、管理にキントーン・メールワイズを使用、関係者間の情報発信、地域への情報発信が大量かつ容易に出来ている。 (今後に向けて) 引き続き充実させるとともに、管理に最新の注意を払っていく。

事業名	広報紙発行事業
事業費	642,653円(内自主財源350,000円)
事業概要	(実施内容) 地域情報発信の手段として毎月1回発行、デジタル化との併用で地域情報の浸透率の向上を図る。 (実施時期) 通年 (参加人数) 配布戸数、1900世帯余り (成果) ほぼ全家庭に配布できている。トピックス、インフォメーション、レポートに区分し、地域内の情報及び交流センターの事業等を高齢者にも伝えられた。 (評価) 全世帯の60%を超える高齢者(独居含む)への情報伝達手段としての役目は大きい。 (今後に向けて) 紙ベースの情報発信は今後とも必要と考えて進める。

(3) 地域福祉

事業名	ボランティア福祉タクシー事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容) 昨年度に引き続き、グループタクシーの利用アップについて、広報紙掲載する。 (実施時期) 7年6月～11月 (参加人数) 6名(部会関係者) (成果) 地域へ広報紙だけでなく声掛け等で具体的な紹介をすることにより、利用者が3人あった。 (評価) グループタクシーの要件緩和が発表されたことが、その一助になったかと思う。 (今後に向けて) 高齢者が一段と増加する中、地域交通は重要な課題ととらえ、更に検討を進める。

事業名	生き甲斐づくり支援事業
事業費	30円
事業概要	(実施内容)生き甲斐は健康からという考えから健康増進を訴えた。特に、ふるさとまつり会場に相談コーナーを設け、来訪者の相談に応じた。計器類による計測も行った。また、地区社協主催の健康に関わる講習会を支援した。 (実施時期)通年 (参加人数)健康相談40名、さばろっち広場約200名 (成果・評価)各種趣味活動(手芸、笑いヨガ、絵手紙、カラオケ等)他の活動を通じ高齢者同士のつながりが広がった。 (今後に向けて)引き続き取り組んでいく。

事業名	見守り配食支援事業
事業費	55, 000円
事業概要	(実施内容)調理の衛生・安全確保の観点から、必要器具等購入の支援した。 (実施時期)年間 (参加人数)今年度は、実質の見守り配食は実施しなかった。 (成果・評価)今年度は、長年使用してきた用具等が傷んで来たこともあり、今後の活動のことも考慮し買い替えを実施した。 (今後に向けて)地域高齢者見守り活動の取組み方について適した方法が検討されており、その取組みについて支援を行う。

事業名	助け合いの仕組みづくり支援事業
事業費	28, 930円
事業概要	(実施内容)今年度は、ゴミ出し支援に加え、庭の草取り、買い物代行や灯油注ぎを試験的に取り組んだ。 (実施時期)通年 (参加人数)ボランティア36名 (成果・評価)利用する高齢者は少数であるが、地域への理解が浸透しつつある。北東包括支援センターの協力も功をそうしている。 (今後に向けて)急激な変化はないと思われるが、利用を希望する高齢者が増えることが予想され広報に努める。

事業名	敬老会開催支援事業
事業費	60, 500円
事業概要	(実施内容)敬老会参加者をバスにより送迎を支援した。 (実施時期)10月11日 (参加人数)敬老会参加者116人 (内バスによる送迎者 36人) (成果・評価)自分で車移動が困難な高齢者対象なので感謝されている。 (今後に向けて)同様な行事においても併せて検討して行きたい

事業名	子育てサロン支援事業
事業費	121,651円
事業概要	(実施内容)開催日の支援者昼食費支援及び幼児対象の行事に使用するマットを補充した。 (実施時期)通年 (参加人数)支援ボランティア月4回基準で各回2名程度 (成果・評価)支援ボランティアが毎回支援できている。健康増進課の支援もあり、少子化の中参加者があり、機能として一定の成果を上げた。 (今後に向けて)開催時間の変更、参加者支援ボランティアの変更等で昼食支援は終了する。事業としての支援は引き続き行う。

事業名	子供の家設立研究支援
事業費	0円
事業概要	(実施内容)今年度は取り組んでいない。 (実施時期) (参加人数) (成果) (評価) (今後に向けて)

(4) 安心・安全

事業名	地域安全、防犯対策事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容)空家実態調査、地域安心マップの作成、特殊詐欺防止講習会開催。 (実施時期)6月～2月 (参加人数)各地区自治会長(23地区)に依頼、協力してもらい調査実施。講習会参加45人 (成果・評価)空家調査(9月～12月)実態調査結果の共有、毎年空き家は増加しているが、放置家屋は現状維持である。防犯火災予防に貢献している。安心マップとなるものは、7件提出あり。詐欺被害に対する意識向上。 (今後に向けて)引き続き各事業を実施する。次年度以降、空家調査データの活用方法や詐欺被害防止に取り組む予定である。

事業名	防犯灯維持設置補助事業
事業費	4,000円
事業概要	(実施内容)防犯灯設置への補助事業(1灯につき2,000円)。 (実施時期)6月～2月 (参加人数) — (成果・評価)防犯灯設置2件 (今後に向けて)次年度以降も継続して実施する。

事業名	反射鏡・掲示板維持設置事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容)反射鏡設置、掲示板設置維持補助事業。 (実施時期)6月～2月 (参加人数)全地域対象 (成果・評価)設置依頼 0件 (今後に向けて)次年度以降も継続して実施する。

事業名	交通マナーアップ向上事業
事業費	143, 070円
事業概要	(実施内容) 地域住民による交通安全運動、高齢者や児童生徒等の交通安全意識向上、青色防犯パトロールの継続実施した。 (実施時期) 通年 (参加人数) 延べ300名(高齢者グループ、小学校、地域住民、各種活動団体等) (成果・評価) 地道な努力が地域の交通事故防止に繋がっている。 (今後に向けて) 引き続き、交通マナーの向上に努力する。

事業名	小鯖っ子見守り隊事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容) 小鯖小学校、大内中学校区にあり、登下校時の交通安全確保、特に低学年へのマナーや、ルールの浸透を図る。 (実施時期) 通年 (参加人数) 見守り隊 立哨約4か所 (成果・評価) 年間を通じ、登下校時を中心に、通学路の立哨、付添等で児童の安全確保を行い交通事故防止に成果を見ている。今年度も児童を巻き込んだ事故等の発生は皆無である。 (今後に向けて) 見守り隊の参加者が高齢化により減少しつつある。新たな呼びかけを行っていききたい。

事業名	挨拶運動推進事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容) 部会としての取り組みは実施していないが、学校・地域の連携事業として6月、11月に1週間ずつ実施した。 (実施時期) 6月、11月 (参加人数) 小学校児童110名、教職員等20名、地域住民延べ100名 (成果・評価) 教育ネットの活動として、関係者が参加している。地域に明るさや元気をふりまいている。 (今後に向けて) 地域づくりの直接的活動ではないが、地元の小学校を中心に展開している。必要な資材等の提供で支援する。

事業名	自主防災推進事業
事業費	41, 688円
事業概要	(実施内容) 避難所指定になっている小鯖小学校体育館を避難所開設に向けた自主防災研修を6月、11月に実施した。2月に救命講習を実施した。小学校4年生を対象にした防災研修を実施した。 (参加人数) 自主防災研修(6月:38人、11月:25人、2月:48人) (成果・評価) 体育館を避難所に想定し、HUG訓練を行った。参加者の真剣な取り組みで防災に対する認識が深まった。また、行政や様々な団体が計画するスキルアップ研修等に積極的に地域住民を参加させ、知識の向上に寄与した。 (今後に向けて) 自主防災組織体制の見直しと共に、運営実動訓練を視野に計画したい。

事業名	災害発生防止対策事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容) 今年度は取り組んでいない。 (参加人数) (成果・評価) (今後に向けて)

事業名	避難時必要資材充足支援事業
事業費	73,396円
事業概要	(実施内容)避難時必要資材の点検と共に、期限間際の非常食の入替えを行った。 (参加人数)11月研修参加者25人 (成果・評価)避難所研修を実施した際、参加者皆がテント等の取扱いが分からず手間取ったことがあり、普段の研修の中でも取扱いの研修も必要であることが認識された。ただ、資材を揃えるだけでは意味がないことも分かった。 (今後に向けて)他の研修でもアドバイスがあったが、必要資材の取扱い実技研修にも重点を置いて行く。

(5)環境づくり

事業名	有害鳥獣対策事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容)部会内で協議を行う。 (実施時期)5月、7月 (参加人数)6名(部会委員) (成果)有害鳥獣の知識を深めることを検討し、次年度の具体的活動方針をまとめられた。 (評価)この課題は、部会だけでは解決できない。 (今後に向けて)地域への周知対策として、有識者による講演等を開催、その他広報紙により注意喚起を行う。

事業名	野良猫対策事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容)猫の正しい飼い方(マナー)内容を広報紙掲載し周知するとともに、TNR活動を通じて将来的に地域の野良猫の削減に繋ぐ。 (実施時期)通年 (参加人数) (成果)野良猫のTNR補助実施 0件 (評価)野良猫問題は、その扱い方を含め、地域住民の理解が欠かせないが、周知には問題が多い。 (今後に向けて)次年度も引き続き、地域の理解が広がるよう周知に務める。

事業名	農地維持対策事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容)今年度は取り組みは無い。 (実施時期) (参加人数) (成果) (評価) (今後に向けて)

事業名	清掃活動推進事業
事業費	192, 000円
事業概要	(実施内容) 単位自治会毎の地域清掃活動(年2回補助)、花いっぱい運動推進支援した。 (実施時期) 通年 (参加人数) 自治会延べ32地区 (成果) 小鯖地域内で、道路の草刈り、水路等のゴミ処理、花壇、公民館掃除等を実施した。 (評価) 高齢化、人口減少は単位自治会の崩壊を意味する。現在行えている地区も地域の清掃は難しくなると予想できる。 (今後に向けて) 地区住民が、無理をしても継続することは勧めない。できる範囲で自主的に活動するようになると考えられる。

事業名	旧萩往還道整備事業
事業費	18, 095円
事業概要	(実施内容) ボランティア参加を募り、旧萩往還道整備事業(草刈り) (年2回) (実施時期) 6月21日、10月5日 (参加人数) 6月39人、10月19人 (成果) 歴史の道(萩往還道)のハイキング散策維持が継続してできた。 (評価) 無償ボランティア参加者が減少傾向にあり、実費弁償支払いの有無について、市へ提議中である。 (今後に向けて) 草刈り機を扱ってこられた高齢者の参加が減り、草刈り機を扱えない若い世代が増える傾向にあつて、環境整備作業の維持継続が難しくなっている。打開策について協議を進める。

事業名	鳴滝公園プール整備事業
事業費	6, 655円
事業概要	(実施内容) ボランティア参加を募り、鳴滝河川親水プール周辺の環境整備(草刈り)。 (実施時期) 7月12日 (参加人数) 18人 (成果) 自然プールとして整い、夏休み期間中、多くの利用者を迎えることが出来た。 (評価) 前記(旧萩往還道)同様で、無償ボランティア参加者が減少傾向にある。 (今後に向けて) 前記(旧萩往還道)同様。

事業名	奉仕の日合同作業支援事業
事業費	8, 900円
事業概要	(実施内容) 主とシニア小鯖連合会が行う「奉仕の日(ゴミ拾い)」の活動に対し、側面的に支援(写真撮影や飲料水支給等)する。 (実施時期) 9月20日(敬老の日) (参加人数) 89人 (成果) 小鯖地域内の環境維持活動に対応出来た。 (評価) 活動主体のシニア世代も体力面で参加が減少している。ゴミ拾い出来るエリアも減少して来ると予想する。 (今後に向けて) 今後も継続して支援する。

(6) 地域個性創出

事業名	若者のびのび事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容) 地域の若い世代からの意見を地域事業や、活動に反映する。 (実施時期) 6月～11月 (参加人数) 今年度申請がなかった。 (成果・評価) (今後に向けて) 30代から50代程度の地域住民が、活性部会を主体に子供たちの成長や、地域住民の関係づくりに繋げて行く。

事業名	小鯖夏まつり支援事業
事業費	333, 296円
事業概要	(実施内容) 小鯖夏まつりへの補助 及び、テント設営簡略化を図るためテント重しを購入 (実施時期) 8月17日(予定)であったが、雨天中止 (参加人数) 夏まつり企画委員会32名により準備を進めたが、前日からの雨天により中止となった。 (評価) (今後に向けて) 少子高齢化の厳しい環境下ではあるが、様々な工夫により継続支援を行っていく。

事業名	小鯖ふるさとまつり支援事業
事業費	340, 039円(内自主財源11,849円)
事業概要	(実施内容) 小鯖ふるさとまつりへの補助。 (実施時期) 11月16日 (参加人数) 約1,000人(地域及び周辺の住民、実行員会、自治会) (評価) 例年、地元住民、関係者等の多くの参加を見ている。今年是有志(約10人)による「お祭り盛り上げ隊」が参画して一役かった。 (今後に向けて) 少子高齢化の厳しい環境下ではあるが、様々な工夫により継続支援を行っていく。

事業名	複合拠点施設設置推進事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容) 複合拠点施設設置建設委員会を立ち上げ、年間を通じ検討を重ねる計画であったが、協議に入る前の市側の課題方向が定まらず着手することが出来なかった。 (参加人数) 協議会構成団体及び若い世代住民等にて構成を検討。 (成果・評価) (今後に向けて) 早急に建設委員会にて市関係部署と協議して建設に向けて具現化していく。

事業名	大内・小鯖教育圏地域教育支援事業
事業費	50, 840円
事業概要	(実施内容) 大内中学校区の教育ネット事業に補助すると共に小学校の新任教員による小鯖探訪、コミュニティースクール活動に協力し、将来を担う子供たちの豊かな心身の育成に寄与する。 (実施時期) 6月～2月 (参加人数) 新着任教職員6名、コーディネータほか関係者等10名 (成果) 既に7回を数えるが、新たに着任した教員等から、地域の理解と児童の生活圏を知ることができ助かるとの声を聴いている。 (評価) 他地域には見られない活動と聞いている。地域と学校の協調・協働を進める上で役立つと考える。 (今後に向けて) 引き続き実施する。

事業名	鳴滝河川プール管理補助事業
事業費	45,000円
事業概要	(実施内容)鳴滝川に設置された、河川プールの維持管理作業への補助。 (実施時期)6月～8月 (参加人数)延べ45名 (成果・評価)夏休み前を中心に、土砂の撤去、水張管理(水門・流量調整)周辺維持(草刈り、環境整理)を行い訪れる市民に憩いを提供できている。 (評価)高齢化他様々な事情で参加者の減少が顕著 (今後に向けて)継続ができるか不安である。

事業名	上下水道設置推進、若者の働く場所確保推進事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容)生活基盤の下水道は地域の定住促進には欠かせない要件である。引き続き移動市長室等に訴える。 (実施時期)7月～8月ごろ (参加人数)10名程度 (成果)進捗は無い (今後に向けて)引き続き訴える。

事業名	さばろっち活動事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容)おさば元気部長として、地域内外のイベント等に出演し、小鯖のPRに務める。 (実施時期)通年 (参加人数)各会場の参加者 (成果・評価)地域内の行事、小学校や幼稚園の行事に参加した。 (評価)少しづつ参加依頼が増えている。 (今後に向けて)引き続き、小鯖地域の広報部長としての活躍を期待する。

事業名	おさばこれからプロジェクト事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容)地域住民等による地域の活性化等を課題にワークショップ等を目的とするが、今年度は取り組みはない。 (実施時期・参加人数) (成果) (評価) (今後に向けて)継続して取り組む。

事業名	小鯖里の駅推進事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容)今年度については具体的検討は行わなかった。 (実施時期) (参加人数) (成果) (評価) (今後に向けて)複合拠点施設設置建設委員会の中で、今後検討が進むこととなる。

事業名	事業検証・検討の取組みと次年度への反映事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容)毎年度末に、各部会の実施した事業を検証し、その成果・課題を共有し、次年度に反映するもの。 (実施時期)1月～3月 (参加人数)32名 (成果・評価)第4次地域づくり計画の3年目が経過したが、部会の在りかた・事業への取組みや進め方を大きく変換した中ではあるが、各部会とも取り組む事業を見据え、成果を出している。種々の取組でもボランティア参加が減少している事が課題となっている。 (今後に向けて)5年間の折り返しとなった。更に地域の課題が重くなる中ではあるが、取り組む事業をしっかりと見極めて活動を推進する。

事業名	担い手確保促進事業(2事業)
事業費	148,912円
事業概要	(実施内容)8月末実施の地域活性化事業「ワイサバ」活動(担い手確保交付金100,000円)支援と11月のふるさとまつりにおける「お祭りもりあげ隊」活動(担い手確保交付金48,912円)への担い手確保の取組みを実施した。 (実施時期)8月末:「ワイサバ」、11月16日「ふるさとまつり」 (参加人数)「ワイサバ」支援担い手 20人、「お祭り盛り上げ隊」支援担い手 10人 (成果・評価)「お祭り盛り上げ隊」支援担い手は、地域の中堅メンバーで今後地域の活性化のために何か活動して行こうと考えている。このメンバーをさらに増やし活動範囲を広げて行けるように支援して行きたい。 (今後に向けて)引き続き担い手メンバー増強を図り、団体組織として充実させる。